

第25回 胎内写真コンテスト

〈応募作品点数133点、応募者数42名〉

入賞作品 紹介

第25回 胎内写真コンテスト作品募集!



応募締切
2026年(令和8年)
1月30日(金)
胎内市観光協会 必着

募集作品テーマ 季節とともに歩む胎内 ～一年を彩る自然と人の物語～

応募方法

応募先

一般社団法人胎内市観光協会(道の駅「胎内」)への郵送或いは、持込または、tainai.syasin@tainai.infoへのデータ(メール)応募。

- 郵送の場合…一般社団法人 胎内市観光協会
〒959-2806 新潟県胎内市下赤谷 387-1
TEL: 0254-47-2723 FAX: 0254-47-2737
- 持参の場合…胎内市観光協会(事務局)までご持参ください。
- データ応募の場合…10Mを超える画像データ送付の際は、ファイル便をお使いください。

応募形態

作品は、四切、四切ワイド銀塩プリント、または A4 (インクジェット)、メールの際は jpg。

注意事項

- 応募作品は、原則として返却いたしません。
- 応募作品は 2025年1月～2026年1月の間に撮影されたものに限りです。
- データ応募で入選した場合、作品をプリントして送っていただきます。
- 入選作品は、胎内市観光協会が関与する事業の広告媒体、

ホームページなどで公開するなど、使用権は胎内市観光協会に帰属させていただきます。媒体によってクレジットの入らない場合があります。

賞

最優秀胎内市観光協会賞 1点 (商品券3万円)、新潟日報賞 1点 (商品券1万円)、胎内市観光 PR 大使賞、Lily&Marry's 賞 など、入選 12点、佳作 若干数。各賞状・副賞有。

審査委員長 / 特別審査員 / 審査委員

公益社団法人 日本写真家協会 会員：山口 冬人 (俳人写真家) / 胎内市観光 大使：長谷川玲奈、NPO法人 Lily&Marry's：赤妻香織 / 新潟日报社 新潟田総局 記者、胎内市観光協会 会長、胎内市役所 商工観光課、カメラ女子 in たいない 複数名。

応募方法、応募用紙、返却、注意点、審査方法、発表についての詳細はホームページ (胎内観光 NAVI) をご確認ください。

胎内観光 NAVI ホームページ▶



主催：  一般社団法人 胎内市観光協会

最優秀 胎内市観光協会賞

撮影日：2025.09.05



「頭取の咆哮」 齊藤 敬幸

シャッタースピードを遅く設定した流し撮りにより、メインの被写体に的確にピントを合わせながら、背景や周囲の景色を流れるように表現している。中央に捉えられた頭取はくっきりと浮かび上がり、躍動感とスピード感が力強く伝わってくる。迫りに満ちた印象的な一枚となった。伝統が息づく、規模の大きな祭りの熱気と高揚感までもが画面越しに鮮やかに伝わってくる。

新潟日報賞

撮影日：2025.07.17



「仲良し」 井川 康徳

築地で**200**年以上続く無形民俗文化財の獅子舞というだけでも貴重ですが、そこに笑顔の子供を組み合わせた視点が本当に印象的です。こうした地域の祭礼文化は、都市化が進む中で目にする機会が減っているからこそ、写真として残す意義は大きいです。特に、ストロボの使用で背景を暗く落とし、獅子頭の質感を際立たせた点は効果的です。暗い背景によって視線が自然と主題に集中し、美しい獅子の毛並みが強調された。その対比としての子供の無垢な笑顔が、「伝統が未来へ受け継がれていく」という物語性をより強く感じさせます。

胎内市観光大使賞

撮影日：2025.05.01



「小さな成長」 小林 左依

全体にやわらかなソフトフォーカスがかかることで、画面はふんわりと包み込まれるような空気感に満たされています。その中で、中心にある一輪の花だけにそっとピントを合わせたことで、視線が自然とそこへ導かれ、春の訪れを感じられやさしく淡い雰囲気がいっそう際立っています。

カメラ女子inたいない賞

撮影日：2025.11.30



「冬手前」 渡辺 辛吾

蛍が棲めるほど澄んだ水路、その脇を軽トラの轍がゆるやかに弧を描いて伸びていく。人の姿はなくても、そこには確かに営みの痕跡があります。むしろ静けさがある分、轍の曲線がいっそう印象的に感じられます。稲刈り後の田は少し寂しくもありますが、もし刈り取り前だったなら。黄金色の稲穂が風にそよぎ、波のように揺れる光景が広がっていたことでしょう。蛍の季節とは少しずれますが、初夏の青々とした稲と水路のきらめき、そして秋の実りの重みを帯びた稲穂も違った魅力があります。

Lily&Marry's 賞

撮影日：2025.04.18



「落ち着くまで」 小形 俊幸

今回は「シャングシャング馬」への応募がたくさんありました。鳥坂神社へ駆け上がる迫力ある場面や、イベントの楽しさが伝わる作品など、思わず行ってみたくなるものばかりでした。選ばれた作品は、馬主がやさしく撫でると馬が目を瞑(つぶ)る仕草を見せ、その様子から深い信頼関係が感じられ、とても印象的でした。

優秀賞

撮影日：2025.04.19



「花咲く旅路」 齊藤 敬幸

1キロも続く千本桜というスケール感。そして花曇りの柔らかな光の中に二人がいて、静けさと物語性が感じられます。左側の空間に電柱や境界ポールが写し込まれて少し気になりました。左をカットするか、二人を中心に縦位置の構図にすると、もっと迫力のある作品になった。

入 選

撮影日：2026.01.02.



「雪の思い出」 レーゴックカーイ

雪が静かに降り、白く縁取られた樹木がゆるやかなカーブを描き、まるで自然がつくったトンネルのような光景が広がっています。枝という枝に雪が付着し、やわらかな曲線を強調することで、幻想的で包み込まれるような雰囲気を生み出しています。その奥からこちらへ向かってくる一台の乗用車。冷たい雪景色の中で、ライトの黄色味がアクセントとなり、自然の静けさと人工の光が対比しながらも調和して、物語性を感じさせる印象的な一枚です。

入 選

撮影日：2025.05.18



「三八市」 井川 康徳

高校生とおばちゃんの組み合わせで、三八市の一コマが新鮮に感じられる。黄色い箱も入れたことで、全体の構図もぐっと引き締まっていて良いです。世代の対比が自然なストーリー性を生み出していて、どこか温かさも伝わってきますし、日常の市場風景を印象的な一枚にしています。

入 選

撮影日：2025.11.16



「錦秋鮮やか」 三浦 孝磨

道の駅「胎内」からの景色は、晴れた日中だと空の青さが際立って、紅葉の赤や黄色が真っ赤や真っ黄に見えます。澄んだ光が胎内川の流れをキラキラと反射させて、背景の飯豊連峰の冠雪もくっきり浮かび上がった。晴天の昼間は空気も澄んで遠くまで見渡せるので、山の稜線の美しさが際立ちます。また違う季節に訪れたい場所です。

入 選

撮影日：2025.12.22



「客待ち」 三浦 孝磨

中条駅 の駅前イルミネーションはとても印象的で、駅前広場全体が暖かな光に包まれます。乗用車やタクシーのボンネットに映り込む光も幻想的で、写真に奥行きと雰囲気を与えてくれます。

入 選

撮影日：2026.01.06



「新年初詣」 井川 康徳

約1,300年の歴史を誇る乙宝寺は、奈良時代に聖武天皇の勅願により、北陸一帯の安穏を祈って建立された古刹です。雪深い新年、境内は一面の白に包まれ、その静寂の中に朱色の柱や梁が鮮やかに浮かび上がります。純白の雪と力強い朱のコントラストは、長い歴史を刻んできた堂宇の威厳と美しさをいっそう際立たせ、訪れる人々の心を清らかに整えてくれます。縦位置の構図で、乙宝寺の荘厳さと冬ならではの幻想的な情景を印象的に表現されています。

入 選

撮影日：2026.01.02



「雪の踊り」 レーゴックカーイ

雪降る夜の乙宝寺をストロボで捉えたことで、静寂の中に凛とした立体感が生まれ、いっそう格調高い作品になっています。雪に包まれた境内の白と、闇の深さ、そのコントラストをストロボが際立たせ、まるで時間が止まったかのような神聖さを感じます。寒さの中にもどこか温もりがあり、思わず新年の祈りを捧げに足を運びたくなる一枚です。乙宝寺の歴史ある佇まいと雪景色の組み合わせは、まさに日本の冬ならではの美しさです。

佳作

撮影日：2025.08.28



「向陽落暉」 大西 理奈

夕焼けに染まるひまわり畑は、とても幻想的です。ひまわりは若い成長期には太陽を追いかけるが、開花すると多くは東向きが知られている。

そのため、朝の光を正面から受けて輝く姿は、特に美しく見えます。

佳作

撮影日：2025.02.05



「稲架木雪風情」 羽田 寿弘

夕暮れの淡い光の中、稲架木に降りかかる大粒の雪。その情景は、時間がゆっくりと重なっていくような、深い懐かしさを感じさせます。

佳作

撮影日：2025.04.22



「春暁の輝きの中で」 大西 理奈

一本桜と星空の組み合わせは、息をのむ美しさです。夜空
いっぱいの星に包まれた一本桜は、それだけで物語の
ワンシーンのようです。特にキラッと輝く流れ星が入り、ロマン
が一気に増しました。

佳作

撮影日：2025.10.29



「森の番人」 大西 理奈

太陽を真ん中に入れた逆光写真なので紅葉がきれいです。
宇宙人のような樹形に出会えるのが魅力です。

佳作

撮影日：2025..



「胎内の夜を二度染める祝花」 石月 孝幸

胎内スキー場開場60周年を記念して打ち上げられた花火を捉えた作品。夜空に開く華やかな光の軌跡と、水面に揺らぐ幻想的な反射。その対比と調和が、祝賀の特別な時間をより印象深いものにしています。さらに、光に照らされてくっきりと浮かび上がるスキー場のシルエットが、60年という歩みの重みと存在感を静かに物語っています。

佳作

撮影日：2025..



「百花繚乱の舞踏会」 塩原 寛之

幾重にも並ぶ雛人形がとても華やかで、見ているだけでその場の賑わいが伝わってきます。手前にぼかしたお花を入れることで、視線が自然と奥へと導かれ、空間の広がりや立体感が強調された。

審査を終えて

阿賀町津川在住の山口冬人(やまぐち ふゆと)です。今回も昨年に引き続き審査委員長をさせていただきました。

第25回胎内写真コンテストのテーマ:

『季節とともに歩む胎内 ～一年を彩る 自然と人の物語～』

審査を終えて阿賀町津川へ帰る途中、雪をいただく山々と胎内川の雪景色が目に入り、深く心に残りました。やがて春になれば、胎内市の千本桜の道が残雪の山へと続き、川面がきらきらと輝く、そんな情景を思い描きました。

応募作品は春夏秋冬いずれも表情豊かで、実にバラエティーに富んでいました。全国規模で開催されている「胎内星まつり」の影響もあり、満天の星空をとらえた作品も数多く寄せられていました。海岸の砂丘地帯から田園風景、河川公園の千本桜、高原地帯まで、胎内市は観光資源に恵まれた地域であることを改めて実感しました。

その一方で、素晴らしい風景でありながら、もう少し生活感や人物の存在があれば、より物語性が生まれるのではと感じた作品もありました。祭りは名の知れた場所が多く、それはそれで大きな魅力ですが、地域の小さな祭りにもまた「人の物語」が息づいているはずです。早春の百万遍、夏の中条まつり、夕日の浜辺など、これからも行きたい、見たい、そして未来へ残したい場所が、この地域には数多くあります。

審査にあたっては、一枚一枚を丁寧に拝見いたしました。それぞれの作品に込められた思いやまなざしに触れられたことを、心より嬉しく思っております。

令和8年3月吉日

(公社)日本写真家協会正会員

第25回胎内写真コンテスト審査委員長

俳人写真家 山口冬人

第26回

胎内写真コンテスト作品募集!

応募締切

2027年(令和9年)1月31日(日)

胎内市観光協会 必着



募集作品
テーマ

小さな町の大きな物語

～ 町に息づく営みや伝承がつくる、もうひとつの胎内 ～

有名ではないかもしれない。けれど、そこには確かに“手”があり、“声”があり、“続けようとする想い”がある。あなたの視点で見つけた、未来へつなぐ一枚を。

応募方法

応募先

- 一般社団法人胎内市観光協会(館の駅「胎内」)への郵送または、tainai.syasin@tainai.infoへのデータ(メール)応募。
- 郵送の場合 …………… 一般社団法人 胎内市観光協会
〒959-2806 新潟県胎内市下赤谷387-1
TEL: 0254-47-2723 FAX: 0254-47-2737
- 持参の場合 …………… 胎内市観光協会(事務局)までご持参ください。
- データ応募の場合 …… 10Mを超える画像データ送信の際は、ファイル便をお使いください。

応募形態

作品は、四切、四切ワイド銀塩プリント、またはA4(インクジェット)、メールの際はjpg。

賞

最優秀胎内市観光協会賞1点(商品券3万円)、新潟日報賞1点(商品券1万円)、胎内市観光大使賞、Lily&Marry's賞 など、入選12点、佳作若干、各賞状・副賞有。

注意事項

- 応募作品は、原則として返却いたしません。
- 応募作品は2026年1月～2027年1月の間に撮影されたものに限りです。
- データ応募で入選した場合、作品をプリントして送っていただけます。
- 入選作品は、胎内市観光協会が関与する事業の広告媒体、ホームページなどで公開するなど、使用权は胎内市観光協会に帰属させていただきます。媒体によってクレジットの入れない場合があります。

審査委員長/特別審査員/審査委員

公益社団法人 日本写真家協会 会員: 山口冬人(個人写真家) / 胎内市観光大使: 長谷川玲奈、NPO法人 Lily&Marry's: 赤妻香織 / 新潟日報社 新潟田総局 記者、胎内市観光協会 会長、胎内市役所 商工観光課、カメラ女子 in たいない 複数名。

応募方法、応募用紙、返却、注意点、審査方法、発表についての詳細はホームページ(胎内観光NAVI)をご覧ください。

胎内観光NAVI ホームページ



